

『木簡研究』一〇五号総目次

創刊の辞

卷頭言―木簡と墨書土器―

〳―中国簡牘呼称についての提言―

〳―木簡保存法の思い出―

〳―木簡史の研究について―

岸 俊男

平野邦雄

大庭 脩

坪井清足

関 晃

号数 頁数

1

2

3

4

5

概要

一九七八年出土の木簡・概要

一九七九年出土の木簡・概要

一九八〇年出土の木簡・概要

一九八一年出土の木簡・概要

一九八二年出土の木簡・概要

加藤 優

和田 萃

柴原永遠男

東野治之

佐藤宗諱

1

2

3

4

5

図版

(アラビア数字は号数、漢数字は図版番号)

平城宮跡出土木簡 1六 2五・六 3一・二 4一〇四 5六

平城京左京三条二坊宮跡庭園跡出土木簡 2六

法華寺西南部(第一三三四次)出土木簡 3二

平城京左京二条二坊坊間大路(第一三二二六次)出土木簡 3二

藤原宮跡出土木簡

1四・五

長岡京跡出土木簡

2七 3三・四 5一〇五

平安京跡出土木簡

1二・三 3五・六 4五

国府遺跡(大阪)出土木簡

1六

佐堂遺跡(大阪)出土木簡

2七

鴨遺跡(滋賀)出土木簡

4六

伊場遺跡(静岡)出土木簡

2一〇三

城山遺跡(静岡)出土木簡

4六

下野国府跡(栃木)出土木簡

2四

郡山遺跡(宮城)出土木簡

4六

府県別木簡出土遺跡目次

(\*印は「一九七七年以前出土の木簡」の項でとりあげたもの)

〔奈良〕

平城宮跡

推定第一次朝堂院地区(第一二〇次)〔図版六〕加藤 優

1 9

東院園池北方地区(第一一〇次)〔図版六〕

〳

1 9

推定第一次内裏地区(第一一七次)

〳 清田善樹

2 7

東院園池西南地区(第一二〇次)〔図版五、六〕

〳

2 7

南面東門(壬生門)(第一二三次)〔図版一、二〕佐藤 信

3 7



東面大垣(第二九次)〔図版三・四〕	加藤 優	3	16	推定左京四条二坊九町	山中 章	2	20
南面大垣(第二九―六次)	〃	3	17	推定猪隈小路(仮称)	〃	2	20
西南隅地域(第三四次)	〃	4	25	左京二条二坊六町(左京第五次)〔図版五〕	〃	3	25
西北隅地域(第三六次)〔図版一、五〕	〃	5	23	左京二条二坊三町(立会調査第八〇―一八次)〔図版六〕	〃	3	25
国道一六五号線樫原バイパス関連調査	和田 萃	* 5	78	〃	清水みぎ	4	26
藤原京条坊関連遺構	中井一夫	2	19	〔図版五〕	〃	4	26
紀寺跡	泉森 皎・岸 俊男	1	15	左京四条二坊九町(左京第七一次)	〃	4	26
稗田遺跡―下ッ道―	中井一夫	3	22	左京四条三坊(第二、五調査区)	鈴木久男	4	31
奈良女子大学構内遺跡	清田善樹	4	22	左京四条二・三・四坊	長宗繁一	5	39
法隆寺	〃	4	24	東二坊大路・南一条条間大路交差点(左京第八九次)	清水みぎ	5	32
白毫寺遺跡	中井一夫	5	21	右京六条二坊四町(右京第一〇二次)	岩崎 誠	5	36
山田寺跡	加藤 優	5	29	右京八条一坊九・十六町(右京第九四次)	〃	5	38
阿部六ノ坪遺跡	関川尚功	5	31	平安京跡			
正倉院伝世の木簡	和田 萃	* 1	58	西市跡〔図版六〕	百瀬正恒	1	23
薬師寺	鬼頭清明	* 3	67	左京八条三坊跡	丸川義広	1	24
〔京都〕				左京内膳町跡(北辺三坊六町)	平良泰久	2	21
長岡宮・京跡				三条西殿跡	定森秀夫	4	32
左京二条二坊五・六町(左京第三二次)〔図版二・三〕				鳥羽離宮跡	上村和直	4	33
〃	山中 章	1	18	仁和寺南院跡	家崎孝治	5	40
〃		1	19				

〔大阪〕

国府遺跡〔図版七〕

大坂城三の丸(京橋口)遺跡

大坂城三の丸(大手口)遺跡

大坂城跡

大蔵司遺跡

若江遺跡

佐堂遺跡〔図版六〕

小曾根遺跡

〔兵庫〕

吉田南遺跡

御着城跡

鷗・城山遺跡

出合遺跡

辻井遺跡

〔滋賀〕

鴨遺跡〔図版一〇三〕

穴太遺跡

佐久間貴士

藤井直正・栄原永遠男

藤井直正

中尾芳治・中川信作

森田克行

阿部嗣治

三宅正浩

柳本照男

田辺昭三

山本博利・秋枝 芳

三村修次

鎌木義昌・亀田修一

山本博利・秋枝 芳

丸山竜平

林 博通

穴太遺跡

服部遺跡

畑田廃寺跡

野路岡田遺跡

野畑遺跡

〔和歌山〕

野田地区遺跡

湯川神社境内遺跡

〔三重〕

下郡遺跡

小判田遺跡

柚井遺跡

木津氏館跡

西沖遺跡

〔愛知〕

下津城跡

林 博通

大橋信弥

近藤 滋

別所健二

林 博通

渋谷高秀

久貝 健

山田 猛

北野 保

北野 保

栄原永遠男

森前 稔

北條猷示

北條猷示

北條猷示

北條猷示

5

2

2

3

5

3

4

4

4

1

1

1

2

3

2

2



堂の前遺跡

道伝遺跡

〃

笹原遺跡

明成寺遺跡

安田遺跡

藤田有宣・平川南

尾形與典

藤田有宣

手塚孝

佐藤庄一

白山橋遺跡

御館遺跡

高堂遺跡

南吉田葛山遺跡

四柳嘉章

〃

戸潤幹夫

浜野伸雄

〔秋田〕

秋田城跡

弘田柵跡

〃

〃

小松正夫

榮原永遠男

船木義勝

〃

〔岡山〕

百間川遺跡群(原尾島遺跡)

助三畑遺跡

肩脊堀の内遺跡

岡田博

馬場昌一

吉岡永一

〔福井〕

大森鐘島遺跡

日野川朝宮橋下流

仁科章

田村満男

草戸千軒町遺跡

志田原重人

〔石川〕

漆町西遺跡

漆町遺跡(C地区)

桜町遺跡

小村茂

〃

四柳嘉章

小田原昭嗣

〃

山県元

2

54

『木簡研究』総目次

安芸国分尼寺伝承地	松下正司・山県元	2	55	九州大学(筑紫地区)構内遺跡	倉住靖彦	4	82
下岡田遺跡	松下正司	* 3	68	長野遺跡	小方泰宏	4	83
道照遺跡	福島政文	4	75	辻田西遺跡	栗山伸司	4	85
				高畑廃寺	柳沢一男	5	75
〔山口〕				〔大分〕			
長門国府周辺遺跡	甲元真之・山内紀嗣・伊東照雄	1	47	藤田遺跡	小倉正五	5	76
周防鑄銭司跡	倉住靖彦	* 2	70	論 文			
長門国分寺跡	伊東照雄	4	76	中国簡牘研究の現状	大庭脩	1	63
				東北地方出土の木簡について	平川南	1	78
〔愛媛〕				長岡京木簡と太政官厨家	今泉隆雄	1	97
久米窪田Ⅱ遺跡	吉本 抔	2	56	藤原宮跡出土の奴婢関係木簡について	鬼頭清明	1	112
				木簡と大宝令	岸 俊男	2	73
田村遺跡	森田尚宏	5	73	中国における雲夢秦簡研究の現状	永田英正	2	101
〔福岡〕				袖井遺跡出土の木簡	栄原永遠男	2	118
三宅廃寺	二宮忠司	1	48	中国における簡牘研究の位相	池田 温	3	71
金光寺跡	倉住靖彦	2	58	庸米付札について	狩野 久	3	99
観世音寺僧房跡	〃	3	55	静岡県城山遺跡出土の具注曆木簡について	原 秀三郎	3	115
大宰府学校院跡東辺部	〃	3	57	草戸千軒町遺跡出土の木簡―形態を中心に―	志田原重人	3	141
大宰府跡(大楠地区)	〃	4	81	呪符木簡の系譜	和田 萃	4	97

木簡と上代文学―水産物付札をめぐって―	小谷博泰	4	137
字訓史資料としての平城宮木簡―古事記の用字法との比較を方法として―	小林芳規	5	87
平城宮出土の衛士関係木簡について	鬼頭清明	5	111
記念講演 (M・ローウェ) 要旨	佐藤宗諄	1	123
木簡第一号発見のころ	田中 琢	1	125
「漆紙文書」出土概要	佐藤宗諄	4	152
木簡とコンピュータ	田中 琢	5	125
書評			
『草戸千軒―木簡一―』	水藤 真	5	129
その他			
『雁鴨池』発掘報告書の刊行		1	39
前川遺跡 (愛媛県松山市南久米町五〇六) 出土の遺物		2	57
福岡宮ノ本遺跡出土の買地券		2	71
御子ヶ谷遺跡出土木簡の報告書公刊		3	43
金堂の仏前に木簡あり		3	67
平城京出土の最古の漆紙文書―かつて発掘され、最近発見された―		3	114

皇后宮職官人銘記の墨書土器		3	140
『但馬国分寺木簡』の刊行		4	48
訂正とお詫び		4	71
『草戸千軒―木簡一―』の刊行		4	74
あいつぐ墨書土器の出土―静岡県坂尻遺跡―		5	32
大阪府立泉北考古資料館『記された世界展』の紹介		5	49
『平城宮出土墨書土器集成Ⅰ』奈良国立文化財研究所編		5	54
鹿の子C遺跡の調査報告書公刊される		5	56
『東大寺領横江庄遺跡』刊行さる		5	70
法隆寺百萬塔の墨書銘		5	110
彙報			
1	128		
2	154		
3	152		
4	156		
5	134		
編集後記			
1 131 (狩野久) 2 156 (田中稔) 3 154 (佐藤宗諄) 4 158 (鬼頭清明) 5 136 (柴原永遠男)			